

## 有馬記念

有馬記念は 19 年、昨年のように大逃げの馬がハイペースを作ると、ステイヤーの資質が問われます。

しかし、今年は逃げ争いはなさそう。  
であれば加速力が問われます。その資質に長けたダンチヒ、ヌレイエフを強化された馬を狙います。

本命はジャスティンパレス。

父は自身も産駒も有馬記念を勝っているディーピンパクト。

母父はヌレイエフ系のパレスルーマー。  
有馬記念で要求される加速力を強化する系統。

2010 年に 14 番人気 3 着、2011 年 9 番人気 3 着のトゥザグローリーと  
2014 年に 9 番人気 2 着のトゥザワールドは全兄弟。  
どちらも母の母父はヌレイエフ。

2020 年に 1 着のクロノジェネシスも父の母父がヌレイエフ。  
母の母父はロベルト系のレッドランサム。

古くからロベルト系は有馬記念に相性が良く、  
ペースを問わず、ロベルト系を持つ馬の好走が目立ちます。  
(冬の中山芝の路盤はロベルト系の馬力が問われやすいため。)

実際、同馬も昨年末に中山で行われたホープフル S で 2 着。  
昨年の勝ち馬エフフォーリアも父はロベルト系。

そのロベルトが父系。  
かつ母父にダンチヒを配合された馬が、  
有馬記念を連覇したグラスワンダー。

同馬も母父はダンチヒ。

その血を継ぐスクリーンヒーローの産駒ゴールドアクターも有馬記念を優勝。

特に馬場がタフでペースが緩む有馬記念ではロベルト系。  
かつ、ダンチヒの加速力も兼ね備えたグラスワンダーの血を継ぐ馬に有利。

ジェラルディーナは3代父に有馬記念を連覇したグラスワンダー。  
2代父のスクリーンヒーローの産駒もゴールドアクターが有馬記念を優勝。  
母はジェンティルドンナ。その母父はダンチヒ系。有馬記念も優勝した歴史的名牝。

タイトルホルダーは、今年はマイペース。  
自身の心身も含め、昨年よりも能力を発揮しやすい状況。

エフフォーリアの近2走は阪神。  
リピーターが走りやすい有馬記念。  
しかも前走で合わないレースを凡走して不当に  
人気が落ちている馬も走りやすいのが有馬記念の傾向。